

事業所名

エコルドさがみやき教室

## 児童発達支援プログラム

作成日

2025年

12月

3日

法人（事業所）理念		エコルドさがみやき教室は、「支援が必要な児童とその保護者に寄り添い、将来児童が自立して社会活動ができるように個々に応じたエビデンスに基づいてその療育の提供を行う」を理念として活動しています。（スタッフの笑顔=子どもの笑顔=保護者の笑顔）						
支援方針		当事業所では、小集団でのサーキットトレーニングやICTを活用した療育プログラムに取り組んでいます。これらの活動を通じて、新しい経験を積み、創造性を育みながら、お友達とのコミュニケーションを深めるとともに、ICTの使い方や考え方を身につけていきます。子どもたちが頑張ったことやできたことをしっかりと褒めることで、自己肯定感や自己有用感を高め、自信を持って日々の生活に取り組めるようサポートしています。これにより、身辺自立に向けた成長を促します。						
営業時間		平日 長期休暇中・ 祝日	9 時 30 分	18 時 30 分	30 分	30 分	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	子どもたちの成長に応じて、着脱衣、食事、歯磨き、手洗い、排泄など、基本的な生活スキルの向上を支援し、身辺自立を促しています。また、デジタル連絡帳を活用し、体温や機嫌、就寝・起床時間などの共有すべき情報を全スタッフがリアルタイムで把握できる環境を整えています。入室時には体温測定や消毒を徹底し、療育中の水分摂取量や排泄回数も確認し、保護者に報告することで、家庭での健康的な生活のサポートにも貢献しています。						
	運動・感覚	サーキットトレーニングを通じて、身体機能と認知機能の向上を目指し、視覚、触覚、固有受容感覚、前庭感覚を養うための運動プログラムをエビデンスに基づき提供しています。アネビー社のスウィングや遊具を活用し、楽しみながら感覚統合を図る取り組みも行っていきます。また、プロジェクターを活用した全身を使ったビジョントレーニングを通じて、空間認知力やリズム感を養っています。						
	認知・行動	全体のスケジュールを視覚支援で提示し、子どもたちが活動の流れを把握して安心して参加できる環境を整えています。現在、約80種類の自立課題を用意しており、子どもの特性に応じた課題に取り組むことで、認識力や理解力、行動力を高めています。季節の創作や興味を引き出す工作では、手先の巧緻性、想像力、集中力を伸ばし、共同作業を通じて楽しみながら学びを深めています。						
	言語 コミュニケーション	多様な療育活動や自立課題を通じて、発語や自己表現力の向上を支援しています。ICTを活用した療育プログラム「KitS」の活動では、描画や発表の時間を設けることで、話す力、書く力、傾聴力、読解力をバランスよく伸ばす取り組みを行っています。						
	人間関係 社会性	プログラム活動や余暇活動を通じて、他者との関わり方や社会のルールを学び、豊かな人間性と適切な人間関係の形成を目指しています。						
家族支援		保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供し、事業所内、家庭訪問、オンライン面談等の手段を用いて相談支援を行っています。			移行支援		進学、進級等のライフステージの切り替えを見据えた準備を支援します。	
地域支援・地域連携		保護者や関係機関と情報共有を行い、関係機関とともに会議を開催します。			職員の質の向上		大学講師による専門的な研修を継続的に実施またスマートラーニングを活用した研修プログラムにも参加し、継続的に学びを得られる環境を整えています。本部主催の段階的な研修システムを設けスキルを習得できる体制を整えています。	
主な行事等		KitS活動、避難消防訓練、防災防犯訓練など、日常的な行事を通じて安全意識の向上を図っています。また、季節ごとのイベントは不定期で開催し、子どもたちに楽しみながら新しい経験を積む機会を提供しています。これらの行事を通じて、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、楽しく充実した時間を過ごせるよう努めています。						

事業所名

エコルドさがみやき教室

放課後等デイサービス支援プログラム

作成日

2025 年

12 月

3 日

法人（事業所）理念		エコルドみやき教室は、「支援が必要な児童とその保護者に寄り添い、将来児童が自立して社会活動ができるように個々に応じたエビデンスに基づいてその療育の提供を行う」を理念として活動しています。（スタッフの笑顔=子どもの笑顔=保護者の笑顔）								
支援方針		当事業所では、小集団でのサーキットトレーニングやICTを活用した療育プログラムに取り組んでいます。これらの活動を通じて、新しい経験を積み、創造性を育みながら、お友達とのコミュニケーションを深めるとともに、ICTの使い方や考え方を身につけていきます。子どもたちが頑張ったことやできたことをしっかりと褒めることで、自己肯定感や自己有用感を高め、自信を持って日々の生活に取り組みようサポートしています。これにより、身辺自立に向けた成長を促します。								
営業時間		平日 9時30分	長期休暇中・ 祝日 8時30分	18時	17時	30分	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	子どもたちの成長に応じて、基本的な生活スキルの向上を支援し、身辺自立を促しています。また、デジタル連絡帳を活用し、体温や機嫌、就寝・起床時間などの共有すべき情報を全スタッフがリアルタイムで把握できる環境を整えています。入室時には体温測定や消毒を徹底し、療育中の水分摂取量や排泄回数も確認し、保護者に報告することで、家庭での健康的な生活のサポートにも貢献しています。								
	運動・感覚	サーキットトレーニングを通じて、身体機能と認知機能の向上を目指し、視覚、触覚、固有受容感覚、前庭感覚を養うための運動プログラムをエビデンスに基づき提供しています。アネビー社のスウィングや遊具を活用し、楽しみながら感覚統合を図る取り組みも行っています。また、プロジェクターを活用した全身を使ったビジョントレーニングを通じて、空間認知力やリズム感を養っています。								
	認知・行動	全体のスケジュールを視覚支援で提示し、子どもたちが活動の流れを把握して安心して参加できる環境を整えています。様々な活動の中で、子どもの特性に応じた課題に取り組むことで、認識力や理解力、行動力を高めています。季節の創作や興味を引き出す工作では、手先の巧緻性、想像力、集中力を伸ばし、共同作業を通じて楽しみながら学びを深めています。								
	言語 コミュニケーション	多様な療育活動や課題を通じて、自己表現力の向上を支援しています。ICTを活用した療育プログラム「KitS」の活動では、描画や発表の時間を設けることで、話す力、書く力、傾聴力、読解力をバランスよく伸ばす取り組みを行っています。								
	人間関係 社会性	プログラム活動や余暇活動を通じて、他者との関わり方や社会のルールを学び、豊かな人間性と適切な人間関係の形成を目指しています。協調性や責任感、自己有用感を育むことを大切に、SST（ソーシャルスキルトレーニング）を通じて、適切な行動認識や問題解決スキルの獲得を支援しています。								
家族支援		保護者に支援場面の観察や参加等の機会を提供し、事業所内、家庭訪問、オンライン面談等の手段を用いて相談支援を行っています。				移行支援		進級等のライフステージの切り替えを見据えた準備を支援します。		
地域支援・地域連携		保護者や関係機関と情報共有を行い、関係機関とともに会議を開催します。				職員の質の向上		大学講師による専門的な研修を継続的に実施またスマートラーニングを活用した研修プログラムにも参加し、継続的に学びを得られる環境を整えています。本部主催の段階的な研修システムを設けスキルを習得できる体制を整えています。		
主な行事等		KitS活動、避難消防訓練、防災防犯訓練など、日常的な行事を通じて安全意識の向上を図っています。また、季節ごとのイベントは不定期で開催し、子どもたちに楽しみながら新しい経験を積む機会を提供しています。長期休暇中には、社会科見学を実施しており、企画書の立案から活動後の振り返りや反省会まで丁寧に行い、次回の活動に活かしています。これらの行事を通じて、子どもたちの学びや成長を支えるとともに、楽しく充実した時間を過ごせるよう努めています。								